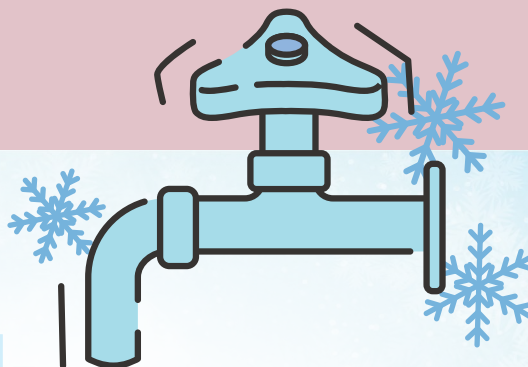


水道管の凍結防止について



例年、寒波による水道管の凍結や破損が発生しています。

水道管破損の修繕に係る費用は、お客様負担となりますので、凍結予防をお願いします。



凍結や破損が発生するときの目安

気温が氷点下になるとき。

マイナス4℃以下になると水道管の凍結や破損が多く発生しますので、天気予報で**低温注意報**が発表されたときは特にご注意ください。

凍結や破損が発生しやすい場所

戸外に**露出されている水道管**、北向きの日陰にある**散水栓**、**屋外の蛇口**で凍結が発生しやすいのでご注意ください。

水道管の凍結や破損を防止する方法

①保温材の取り付け

屋外のむき出しになっている水道管や散水栓には保温材の取り付けが効果的です。

ただし、古くなり表面がはがれ落ちた保温材や、テープ等が破損している保温材は効果が薄れてしまいますので、取り替えをおすすめします。(保温材はホームセンターなどで購入できます。)

また、使わなくなったタオルや毛布を水道管に巻き付け、ビニールテープで固定する方法も効果があります。

②少量の水道水を出しておく

蛇口や水道管が凍ることを防止するために、就寝前に鉛筆の芯の太さぐらい(5～8mm程度)で水を出しておいてください。ポタポタと落ちる程度の水では凍結防止効果は期待できません。

※水道料金が掛かりますので、バケツ等に水をため、翌朝ご利用ください。

水道管が凍ってしまったら

①自然に溶けるのを待つ方法

凍結したままお出かけの際は、蛇口や水道管の内部の氷が溶ける時に膨張し破損する場合がありますので、**水道の元栓を閉めてからお出かけください。**

②「ぬるま湯(50℃程度)」をかけて溶かす方法

蛇口や凍結している水道管に**タオルをかぶせ**、その上からゆっくりと「ぬるま湯(50℃程度)」をかけて溶かしてください。

③カイロを凍結した部分にあてて溶かす方法があります。

熱湯は絶対にかけないでください。
熱湯をかけると、
水道管が破損する
場合があります。



水道管が破損した時のために

①水道メーターの位置を確認しておきましょう。 ②水道の元栓が閉まるか確認しておきましょう。

水道管が破損してしまったら

①水道メーター内にある、**水道の元栓を閉めてください。**(蛇口と同じ方向で閉まります。)

②破損した箇所**にタオルやビニールテープを巻き付けて応急手当てをしてください。**

③水を止めた後、「**佐々町指定給水装置工事店**」に**修繕(お客様費用負担)**を依頼してください。

佐々町指定給水装置工事店は、佐々町ホームページでご確認ください。

※急激な寒波や低温注意報が出ているときは、佐々町指定給水装置工事店へ多数の修繕依頼がよせられ、即日の対応ができない場合もあります。